

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【公開番号】特開2009-165715(P2009-165715A)
 【公開日】平成21年7月30日(2009.7.30)
 【年通号数】公開・登録公報2009-030
 【出願番号】特願2008-8610(P2008-8610)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月14日(2011.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光を透過可能な透明部材と、前記透明部材を介して前方から視認可能に構成される第 1 表示手段及び第 2 表示手段とを具備する表示装置を備えた遊技機であって、

前記透明部材は、遊技機の前方に臨む前面と、前記第 1 表示部材から発せられた光、又は前記第 1 表示部材にて反射した光のうち前記透明部材の内部に進入した光を前記前面に向けて反射可能な案内面とを備え、

前方から視認可能な前記表示装置の表示領域において、前記案内面に映って見える前記第 1 表示部材の態様に隣接又は近接して、前記第 2 表示部材の態様が視認可能に構成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 2 表示部材は、前記透明部材のうち前記前面、前記案内面、及び前記第 1 表示部材が対応して設けられる面とは異なる面に対応して設けられ、

前記第 2 表示部材から発せられた光、又は前記第 2 表示部材にて反射した光が前記案内面にて反射することなく前記前面を透過して前方に照射可能に構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

操作部を具備する角度調節手段を備え、前記操作部を操作することにより、前記透明部材の前記前面及び前記案内面の傾斜角度を変更可能であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記第 1 表示部材から発せられた光が前記前面に入射するまでの距離と、前記第 2 表示部材から発せられた光が前記前面に入射するまでの距離とが同じ又はほぼ同じであることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の遊技機。